

CEATEC JAPAN 2017 開催報告

日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する「Society 5.0」の展示会へ

CEATEC JAPANは、2016年に従来の「最先端IT・エレクトロニクス総合展」から「CPS/IoT Exhibition」に舵を切り、2017年は「CPS/IoT Exhibition」を本格化させ、日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する「Society 5.0」の展示会として10月3日から10月6日の4日間、幕張メッセにて開催しました。CEATEC JAPANは、今年で18年目を迎えますが、本年は出展者の49%が新規出展と顔ぶれは大きく変わりました。また、従来からの出展者もその展示内容が大きく変化し、新しい製品や技術、サービスを披露するだけでなく、それを通して実現したいライフスタイルや働き方等、「Society 5.0」の未来を意識したものになりました。CEATEC JAPAN 2017は、出展者数667社／団体（昨年比+2.9%）、登録来場者数：152,066人（昨年比+4.7%）を記録し、業種や産業を超えた連携、事業の創出、世界各国との政策連携等、IoT・ロボット・人工知能（AI）を活用した「未来の社会」を共創する展示会へとさらなる躍進を遂げました。

オープニングレセプション

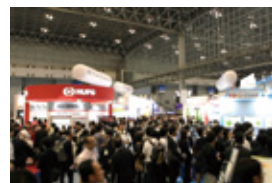
10月2日午後6時よりパレスホテル東京にて、オープニングレセプションを開催しました。来賓として、世耕弘成 経済産業大臣、野田聖子 総務大臣、日本経済団体連合会 榊原定征 会長を迎え、それぞれからご祝辞をいただき

ました。会場内は、官公庁関係者、各社経営幹部などの800名以上が参集し、CEATEC JAPAN 2017の開幕を祝うとともに、盛んなトップセールスが行われました。

特別企画

①IoTタウン 2017

IT・エレクトロニクス業界以外の製造業やサービス産業なども含めた、幅広い業種・業界のプレイヤーが集結するIoTタウンは、昨年以上に展示エリアを拡充、CEATEC JAPAN初参加の6社／団体を含めた31社／団体が参画しました。今回がCEATEC JAPAN初参加となる三井住友フィナンシャルグループ、バンダイナムコグループ、LIXILをはじめ、昨年に引き続き三菱UFJフィナンシャル・グループ、タカラトミー、ジェイティービー（JTB）などが参加するなど、幅広い業種・業界が参画する新生CEATEC JAPANの象徴として注目を集めました。Society 5.0の実現に向けて、デマンドサイドとサプライサイドが連携し、新たなビジネスモデルにつながるアイデアやパートナーとの共創をIoTタウンから発信しました。



②スマートファクトリー<Real Showcase 2020>

ファナック、アマダホールディングス、ジェイテクトといった工作機械メーカーが初出展。ものづくりの革新



世耕弘成 経済産業大臣



野田聖子 総務大臣



日本経済団体連合会 榊原定征 会長

を実現するつながる工場の
展示紹介やスマートファク
トリーシンポジウムを実施
しました。



③インドショーケース<インドパビリオン>

インド最大のソフトウエ
ア・サービス業界団体である
[NASSCOM]とJEITAとの
連携で、インド企業を集めた
「インドショーケース」を初
めて設置し、インフォシス
やウィプロ、さらにはマヒ
ンドラグループのほか、スタートアップ企業などが出展
しました。また、10月4日には駐日インド大使 スジャン・
R・チノイ閣下が来場し、特設ステージにてインドショー
ケースセレモニーを開催しました。さらに、JEITA主催
による日印ラウンドテーブルや「Global Networking」
を同日に開催し、インドをはじめ、欧米やアジア、アフ
リカなど世界各国からの出展者とJEITA会員や他の日本
の出展者とが交流する機会を設けるなど、両国の新たな
ビジネスチャンスを生み出す場を作り出しました。



コンファレンス

CEATEC JAPANの大きな
柱の一つであるコンファレ
ンスでは、JEITA長栄会長の『超スマート社会「Society
5.0」へ向けて』のキーノートスピーチをはじめ、
Fintech、スマートツーリズムやスマートシティ、自動
運転、ヘルスケアやスマート農業といった新しい取り組
みに関するセッションなど、多様なテーマで100本以上
の講演が行われました。



主催者ツアー

政府要人のみならず、海
外(インド)や異業種分野の



方々に多くご参加いただき(34組、約170名)、JEITA
会員企業との連携の可能性を生み出す機会としました。
ツアー訪問先の企業や団体の窓口、説明者の方々が毎回
丁寧にご対応いただいたことに感謝いたします。

メディアへの掲載

CPS/IoT総合展へと大きく舵を切り、その変革が本格
化してきたとする好意的な論調で、テレビや新聞、オン
ラインニュースなどで大きく取り上げられました。また、
JEITAとNASSCOMの協力関係により本年初めて新設
したインドショーケースについては、10月4日付の日経
産業新聞1面にて大きく取り上げられました。

主な新聞掲載記事の見出し

- 見本市シーテックきょう開幕／家電激減、主役は企業向け
(10/3 日本経済新聞)
- フィンテック3メガ銀攻勢
(10/3 日本経済新聞)
- IoT技術全面 スマートホームなど展示／IoTの未来が見える／
広がる連携 多業種出展
(10/3 日経産業新聞)
- IoT使い働きやすく／シーテック開幕
(10/3 朝日新聞)
- IoT・AI異業種続々／シーテックきょう開幕
(10/3 読売新聞)
- 未来の生活いかが？／シーテックきょう開幕
(10/3 毎日新聞)
- 「脱家電」鮮明に／シーテック・ジャパン開幕
(10/3 産経新聞)
- 家電にネット化の波／IoT展示拡充／シーテックきょう開幕
(10/3 東京新聞)
- シーテックきょう開幕 “新しい社会”へ技術発信
(10/3 日刊工業新聞)

など